

作成日：西暦 2025 年 7 月 23 日

2018 年 1 月から 2025 年 7 月に産業医科大学病院の

眼科と両立支援科へ受診された患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

視機能障害者における就労両立支援の実態調査

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日

3. 研究機関

産業医科大学

4. 研究責任者

産業医科大学病院 眼科 助教 奥 一真

5. 研究の目的と意義

超高齢化社会に伴い、就労者の高齢化が問題となっております。緑内障をはじめとする眼の病気は罹患した際は高齢とともに罹患しやすく、仕事と治療の両立が求められます。しかしながら実際に就労支援が必要となった症例の詳細についての研究報告はわずかです。

〔目的〕

視機能障害によって就労・両立支援が必要となった症例の詳細を解明することを目的とします。また就労内容ごとに、支援が必要となる項目を明らかにします。

〔意義〕

就労支援が必要となった症例の詳細を調べる事で、支援が必要となる疾患の傾向や、支援が必要となる視機能をはっきりさせることが出来ます。それにより、より早期に

支援に繋げることが可能となります。

6. 研究の方法

産業医科大学病院眼科で眼科から両立支援科へ紹介され受診した患者さんを対象に、診療録を利用して年齢、疾患、視機能(視力・眼圧・視野・色覚)、業務内容、身体障害者手帳の有無、産業医との連携の有無、支援内容を後ろ向きに検討を行います。(3群以上の比較については Kruskal-Wallis 検定を用います。)

7. 個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データの解析の際には対象者を特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て加工(匿名化)します。この研究で得られたデータは、論文等の発表後 10 年間保管します。保管期間終了後、情報は復元できない方法で消去・廃棄することで、個人情報が外部に漏れないように対処します。この研究への参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない患者さんは下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象から対象外とさせていただきます。

8. 問い合わせ先

産業医科大学病院眼科 助教 奥一真
〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
TEL: 093-691-7261 FAX: 093-603-3657

9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼はありません。この研究は講座研究費で行われ一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。